

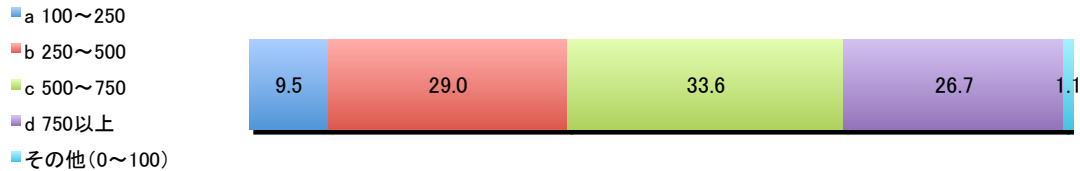
形成外科疾患データベース運用に関するアンケート結果

(グラフの数字は回答数に対する各項目の割合(%)です)

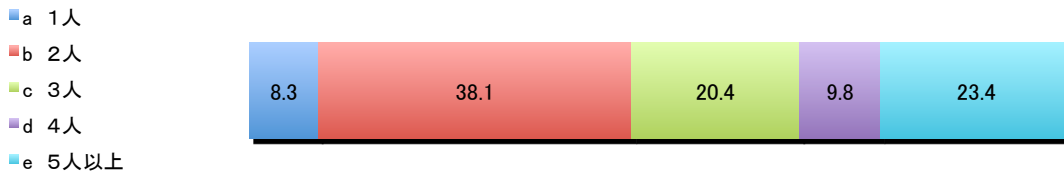
送付施設	418
返答施設	266
返答率	63.6%

1. 貴病院の現状について

Q1 貴病院全体の有床数をお聞かせ下さい。(回答数262)



Q2 貴病院の形成外科の常勤医師数(研修医は含めない)をお聞かせ下さい。(回答数265)



2. 貴施設におけるデータベースの運用について

1) 使用状況に関して

Q3 現在、学会データベース(以下、DBと略します。)を使用していますか。(回答数264)



Q4 Q3で「まだ使用していない」を選んだ方、可能であれば、その理由をご記入ください。

- 【主な理由】
- ・PCがうまく動かない
 - ・スタッフの不足、勤務が多忙
 - ・年次報告までに間に合えばよい
 - ・倫理委員会の審査が未終了

以下、Q3で「まだ使用していない」と回答された方も、予定でよいですのでお答えください。

Q5 これまで貴施設では、電子化されたDBを使用していましたか。(回答数263)



Q6 Q5. で「使用していた」方、使用していたDB作成のソフト名をお答えください。（回答数141）



Q7 学会DB開始後、これまで使用していたDBはどのようにされていますか。（回答数170）



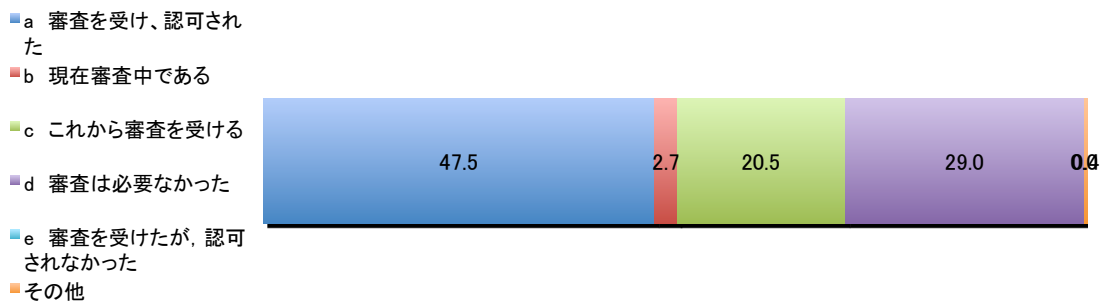
Q8 Q7. で「使用または一部使用している」を選んだ方、可能であれば、その理由をご記入ください。

【主な理由】

- ・使い慣れている
- ・これまでのDBで連動していた機能（診断書、サマリーの作成、写真、手術記録の管理など）が利用できない
- ・必要とする項目、病名などが学会のものと異なる

2) 研究計画書・倫理委員会に関して

Q9 学会DBの使用にあたり、倫理委員会の審査・承認を受けましたか。（回答数259）



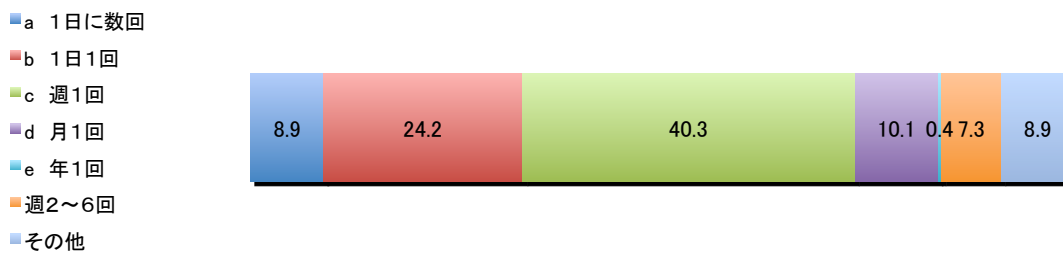
Q10 研究計画書・倫理審査に関する問題点・要望がありましたらご記入ください。

【おもな問題点・要望】

- ・必ずしも倫理審査は必要ない
- ・まれではあるが患者が特定される可能性がある
- ・資料がそろっていて助かった、問題ない

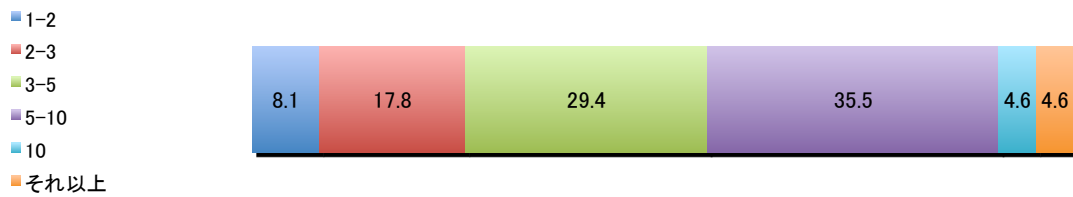
3) 入力操作に関して

Q11 DBに入力する時期・間隔についてお答えください。（回答数 248）

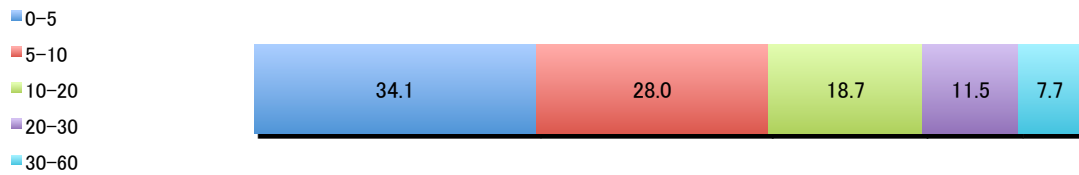


Q12 DBの入力にあたり、1件の入力時間、1日あたりの入力件数を教えてください。

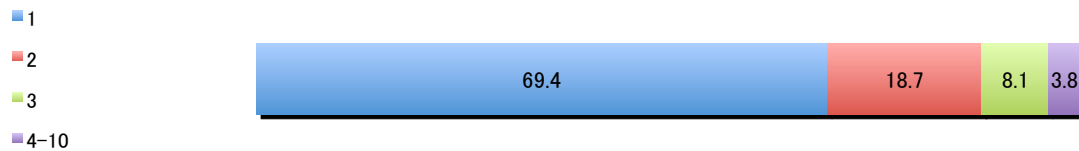
1件約 分（回答数197）



1日あたり から 件（回答数182）



Q13 1日あたり何人で入力していますか。（回答数235）

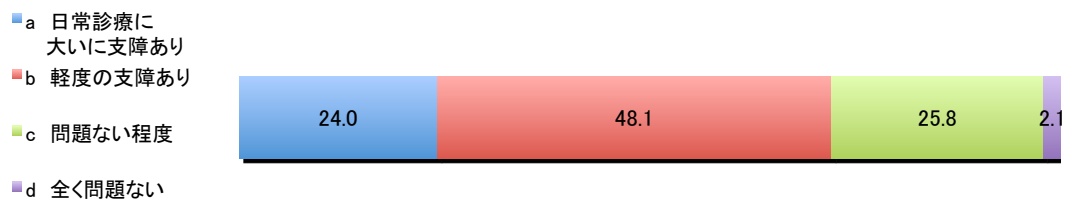


Q14 誰が入力していますか。（回答数263）



Q15 Q14. で「医師」を選んだ方にお聞きします。

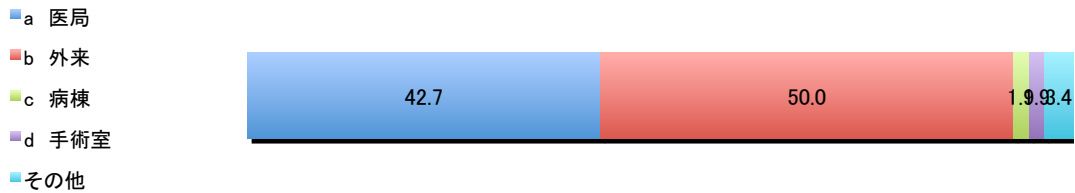
①DBの入力労力について（回答数233）



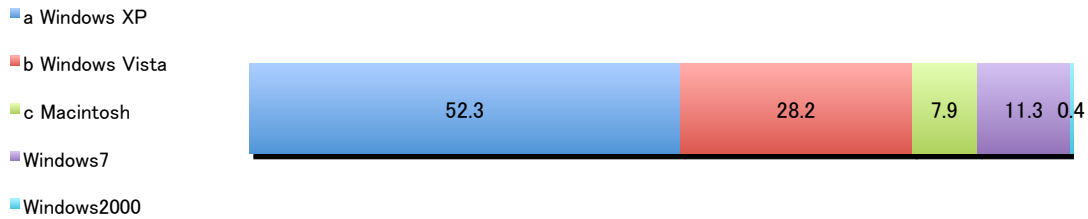
②DBの入力操作方法について（回答数222）



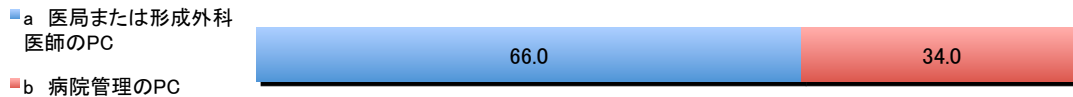
Q16 DBはどこで入力していますか。(回答数262)



Q17 DBソフトをインストールしているコンピュータの機種は何ですか。(回答数266)



Q18 DBソフトはどのコンピュータに入れていますか。(回答数253)



Q19 入力可能なコンピュータの台数に関してお尋ねします。(回答数253)



Q20 Q19で、複数台がよいとお答えの方、何カ所がよいかお答えください(例: 医局と手術室で2カ所、など)(回答数116)



Q21 入力操作に関して問題点・要望がありましたらご記入ください。

【おもな問題点・要望】

- ・漢字の読みを、ふりがなに反映させてほしい
- ・項目を移動するとき、日本語入力のon/offを連動させてほしい
- ・ボタンチェック項目の初期設定をできるようにしたり、キーボードで確定できるようにしてほしい
- ・デフォルトの画面サイズを大きくして、項目の右側が見えないものを減らしてほしい
- ・疾患、手術などの追加ボタンを押した際、入力カーソルが既存のデータ欄にくるため、間違っデータを上書きしてしまう
- ・同一日の複数手術入力の際に反復して入力しなければならない項目が多く、面倒
- ・ぜひ複数台のPCから入力できるようにしてほしい
- ・1台のPCしか入力できないと、そのPCのセキュリティが問題になる

4) 入力内容に関して

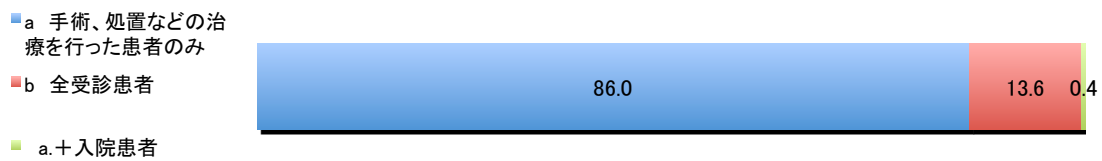
Q22 入力内容に関する印象はいかがでしょう。(回答数235)



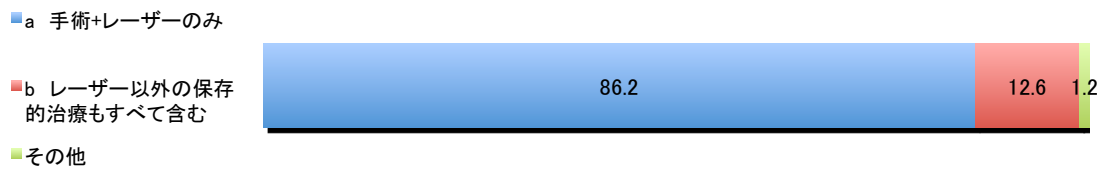
Q23 Q22. で(大変)わかりにくいとお答えの方、可能であれば、具体的な項目をご記入ください。

項目として多数が疾患分類をあげていた。
慣れの問題が大きいですが、分類がわかりにくい、項目を探すのが大変という意見が多かった。

Q24 DBへ入力する対象はどこまでですか。(回答数250)



Q25 治療を行った患者の入力に関して、入力はどこまで行っていますか。(回答数254)



Q26 DBのオプション項目を利用していますか。(回答数245)



Q27 Q26. で「利用している」と答えた方、どのオプション項目をよく利用していますか。

【多い順に記載】

術者	14 施設
助手	11 施設
病理	11 施設
主治医(執刀医)	6 施設
手術時間	6 施設
左右の記載	5 施設
指導医	5 施設
以下省略	

Q28 参照アプリケーションを利用していますか。（回答数229）

■ a 利用している

■ b 利用していないが、利用する予定である

■ c 今後も利用する予定はない



Q29 DBソフトの入力内容に関する問題点・要望をご記入ください。

【おもな問題点・要望】

- ・診療開始日を必須から外してほしい（診療開始日を決めにくい。確認に時間がかかる。）
- ・年次報告に必要な年齢が、生年月日から入力しなければならないのが大変だ
- ・疾患の多数部位に対して左右が1つしか入力できない
- ・生年月日の入力が西暦で、使いにくい
- ・手術がKコードからも入力できるとよい

5) システムに関して

Q30 これまで電子化されたDBを利用していた施設にお聞きします。

①既存のDBからのデータの流し込みについてどのようにお考えですか。（回答数156）

■ a 絶対に必要である

■ b しばしば必要である

■ c ときどき必要である

■ d 必要ではない



②流し込みが必要とお答えの方へ、必要と考える項目についてお答えください。（回答数88）

■ a 基本項目（患者ID、姓、名、姓ふりがな、名ふりがな、性別、生年月日）のみ必要

■ b 基本項目以外も流し込めると良い



→必要な項目をある程度絞ってご記入ください。

【多い順に記載】

病名（疾患名）	24 施設
手術術式（手術名）	22 施設
手術日	13 施設
術者	5 施設
以下省略	

Q31 DBのシステムに関する問題点・要望をご記入ください。

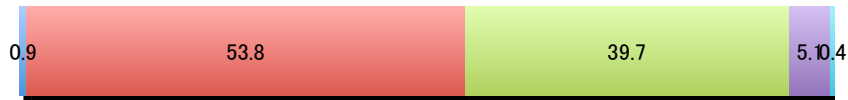
【おもな問題点・要望】

- ・既存のDB、電子カルテなどとデータを共有できるようにしてほしい
- ・検索機能を強化してほしい
- ・一覧画面でソート機能を強化してほしい（手術日順、かな順での並べ替えなど）
- ・よく使う疾患名、手術名などを「お気に入り」などとして登録・利用できるとよい

6) 疾患および治療の分類に関して

Q32 疾患の分類に関していかがでしょうか。(回答数234)

- a 大変わかりやすい
- b わかりやすい
- c わかりにくい
- d 大変わかりにくい
- どちらでもない



Q33 医療行為の分類に関していかがでしょうか。(回答数240)

- a 大変わかりやすい
- b わかりやすい
- c わかりにくい
- d 大変わかりにくい



Q34 現在の疾患分類、医療行為分類について、不足しているものをご記入ください。

【不足しているもの・必要なもの（一部抜粋）】

口唇顎裂、刺青、耳下腺以外の唾液腺腫瘍、軟部腫瘍および骨腫瘍の疾患と術式、切断の術式、頸瘻・頸嚢胞摘出術、下肢静脈瘤に関する手術（ストリッピング、高位結紮）、生検（リンパ節生検）、硬化療法、整容目的の縫合依頼、ペースメーカーや脊髄刺激装置の埋め込み、保存的治療が中心となるような項目

Q35 DBの疾患・医療行為分類に関する問題点・要望をご記入ください。

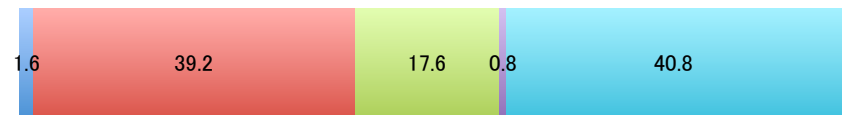
【おもな問題点・要望】

- ・疾患の選び方（分類）によって手術名が選択できなくなるものがある
- ・レーザー治療の分類がわかりにくい
- ・専門医試験の疾患分類と共通にしてほしい
- ・フリー入力を増やしてほしい
- ・手術術式が不十分
- ・分類が細かすぎる
- ・診療報酬改正に対する対応はすぐ可能か

7) その他

Q36 形成外科学会ホームページの疾患データベースFAQについてお答えください。(回答数250)

- a 非常に参考になった
- b 参考になった
- c あまり参考にならなかった
- d 全く参考にならなかった
- e まだ見ていない



Q37 今回のDBに関して、上記以外の点でのご要望・ご意見をご記入ください。

【おもな要望・意見】

- ・字が小さい
- ・形成外科用語集との整合性に疑問
- ・理想が高すぎる
- ・思ったより使いやすかった

◆アンケート結果に対するまとめ

1. 回収率が63.6%と比較的高い数字であった。
2. データベースはアンケート送付施設の86%で使用されていた。これまで何らかのデータベースを使用していた施設と使用していなかった施設がほぼ半数ずつで、さらに使用していた施設の半数では、既存のデータベースも併用していた。その理由としては、データの互換性に関するものが一番多かった。
3. 倫理委員会の審査・承認に関しては3割弱の施設では必要がなかったとの結果であったが、審査を受けた施設での不認可はなかった。
4. 問題点に関しては、以下の事項などがおもなものであった。
(詳細に関しては個々の項目を参照)
 - ① 入力作業が煩雑で、時間を要する
 - ② 日々の診療の中では少人数の施設では支障が生じる
 - ③ 複数台のPCから入力できるとよい
 - ④ 他のデータベースや電子カルテからのデータの流し込みができるるとよい
 - ⑤ 疾患分類や医療行為分類の改善が必要である
 - ⑥ 検索機能やソート機能が強化されるとよい(これによりデータ入力、データの二次利用がしやすくなる)
5. 一方、入力内容、疾患分類や医療行為分類に関してはわかりやすいという意見が多かった。